

総合戦略 評価シート（地方創生先行型）

事業名	担当課
①旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の活用	企画課
②観光対策事業	商工観光課
③街バル事業	商工観光課
④すくすくメール配信事業	子育て支援課
⑤多子世帯支援事業(保育園等・幼稚園第3子無償化)	子育て支援課 学校教育課

総合戦略__評価基準

評価項目	評価分類
目標(KPI)達成分析	1 大きく達成(100%以上) 2 ほぼ達成(80%以上~100%未満) 3 未達成(80%未満) 4 未実施・把握できない
効果についての評価	A 極めて効果的である B 効果的である C あまり効果的でない D 効果的でない
必要性についての評価	1 継続(拡大) 2 継続(現状維持) 3 継続(縮小) 4 改善・見直し 5 中止

本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート（H27年度分）

分野別	魅力創造	主要施策	(1)観光			担当課	企画課		
個別施策	①観光拠点の整備					連携	早稲田大学等		
事業名	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の活用					事業区分	先行	該当ページ	P26
事業目的	本庄市は、絹産業で栄えた歴史を有します。この歴史におけるシンボリックな建物である旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の活用や、新たな観光資源の発掘により、交流人口の増加を図ります。								
事業概要	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫が本庄市民、観光客等の交流拠点であることを踏まえ、本庄市の観光情報の収集及び発信を行うとともに、イベントの開催や文化財等の展示企画展等を通じて、地域振興を図ります。								
重要業績評価指標(KPI)	観光入込客数					目標値	650,000人		
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	計画額(千円)	決算額(千円)	備考(実績の概要など)	
	基準値	H26		613,712				別の指標	観光入込客数 目標値754,450人
	目標と成果	H27	650,000	656,834	101.1%	2,500	2,361	展示パネルの作成及び設置	
		H28	650,000						
		H29	650,000						
		H30	650,000						
H31		650,000							
事業の取組状況 D	中山道の今昔、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫及び競進社の歴史、桑畑の存在等近代本庄市の絹産業にまつわる資料を、早稲田大学の研究を踏まえ、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫館内に展示するためのパネルとして作成しました。								
目標(KPI)達成分析 C	評価			要因分析					
	1 大きく達成(100%以上)			早稲田大学との連携により、改修工事中の旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の現地見学会を開催し、市内外から500人を超える見学者がありました。 現地では、展示パネル作成途中の資料等を活用し、プロジェクター上映、ポストカードの作成等により、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の魅力伝えるイベントを行ったことが観光入込客数の増加に寄与したと考えます。					
効果についての評価 C	評価			評価理由					
	B 効果的である			展示パネルについては、早稲田大学の協力の下、「繭とひと 中山道で紡ぐまち-本庄・児玉と煉瓦倉庫」と題して、絹産業に関する情報の収集、整理を行っている中で、絹産業への関心を見学者に与え、観光に寄与する効果的なものであると考えます。					
必要性についての評価 C	評価			評価理由					
	2 継続(現状維持)			旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の改修工事を平成28年度中に完了し、平成29年度より観光交流拠点として、観光入込客数の増加を図っていきます。					
今後の方向性 A	情報発信に努めるとともに、より効果的なPR方法を検討していきます。 また、KPI値について、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の来館者数に変更することを検討します。								
懇談会からの意見									

本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート（H27年度分）

分野別	魅力創造	主要施策	(1)観光			担当課	商工観光課		
個別施策	②観光の推進				連携				
事業名	観光対策事業				事業区分	先行	該当ページ	P26	
事業目的	観光に係る発信力の強化による観光客誘致の促進								
事業概要	観光協会に補助金として交付し、観光情報誌等を作成								
重要業績評価指標(KPI)	観光入込客数				目標値	650,000人			
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	計画額 (千円)	決算額 (千円)	備考(実績の概要など)	
	基準値	H26		613,712				別の指標	観光入込客数 目標値754,450人
	目標と成果	H27	650,000	656,834	101.1%	6,000	6,000	観光情報誌等を作成	
		H28	650,000						
		H29	650,000						
		H30	650,000						
H31		650,000							
事業の取組状況 D	るるぶ特別編集本庄市の作成と本庄市観光ガイドの増刷								
目標(KPI)達成分析 C	評価			要因分析					
	1 大きく達成(100%以上)			KPIの目標を大きく達成しました。観光情報誌の作成が3月であり、今回増えた要因は、各イベント時の天候が良かったことだと考えられます。					
効果についての評価 C	評価			評価理由					
	B 効果的である			今回の目標達成の要因ではないが、PR活動は観光入込客数の増加に繋がると思われるので効果的と考えます。					
必要性についての評価 C	評価			評価理由					
	2 継続(現状維持)			今後、PR活動は必要であると考えているため、継続していきます。					
今後の方向性 A	観光入込客増加に向けて、PR活動を行う。								
懇談会からの意見									

本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート（H27年度分）

分野別	しごと	主要施策	(1)経済・雇用			担当課	商工観光課		
個別施策	④商工業の振興				連携	本庄商工会議所			
事業名	街バル事業				事業区分	先行	該当ページ	P9	
事業目的	商店街が疲弊し、市街地における交流人口が減少している状況を打破すべく、商店街の活性化及び交流人口の増加に向けたイベントを実施する商工団体を支援する。								
事業概要	街バルを実施する商工団体への助成。(補助率2/3)								
重要業績評価指標(KPI)	参加店舗数				目標値	40店舗			
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	計画額(千円)	決算額(千円)	備考(実績の概要など)	
	基準値	H26		35		1,200	1,200	別の指標	
	目標と成果	H27	38	51	134.2%	1,200	1,200	参加店舗(飲食店)を巡りながら街歩きを楽しみ、本庄の魅力を再発見する。	
		H28	40						
		H29	40						
		H30	40						
	H31	40							
事業の取組状況 D	街バル事業を実施する商工団体を支援した。								
目標(KPI)達成分析 C	評価			要因分析					
	1 大きく達成(100%以上)			KPIの目標を大きく達成しました。これは商店街の活性化に向けた参加店舗の意識の高さと、商工団体との協働によるものと考えます。					
効果についての評価 C	評価			評価理由					
	B 効果的である			ガイドブック等によるPR効果により、集客及び交流人口の増加につながっていることから効果的であると考えます。					
必要性についての評価 C	評価			評価理由					
	2 継続(現状維持)			商工団体との連携により商店街のさらなる活性化に向けて、継続していきます。					
今後の方向性 A	引き続き、商店街の活性化に向けて、イベントを実施する商工団体を支援する。								
懇談会からの意見									

本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート（H27年度分）

分野別	ひと	主要施策	(1)結婚・出産・子育て		担当課	子育て支援課			
個別施策	⑤子育てに関する相談・情報提供の充実				連携				
事業名	すくすくメール配信事業				事業区分	先行	該当ページ	P14	
事業目的	孤立による育児不安や母親の産後うつ、乳幼児の虐待など、子育てで家庭における育児の不安・負担を背景としたさまざまな問題の減少・解消を図る。								
事業概要	妊娠週数・子どもの月齢に応じた情報のメール配信及び予防接種スケジュール管理								
重要業績評価指標(KPI)	すくすくメール登録者数(親)				目標値	1,100人			
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	計画額(千円)	決算額(千円)	備考(実績の概要など)	
	基準値	H26	/	349(H27.11)	/	/	/	別の指標	利用者満足度 目標95.2%→実績 97.3%
	目標と成果	H27	400	498	124.5%	2,984	2,550	メールによる情報配信・予防接種スケジュール管理サービスの提供	
		H28	600						
		H29	800						
		H30	950						
H31		1,100							
事業の取組状況 D	妊婦又は子育て中の方へメールによる情報配信や予防接種スケジュール管理サービスを提供した。								
目標(KPI)達成分析 C	評価			要因分析					
	1 大きく達成(100%以上)			目標を達成しました。子どもの月齢に応じたきめ細かい内容の情報配信が効果的であったと考えます。					
効果についての評価 C	評価			評価理由					
	A 極めて効果的である			アンケート調査の結果、「親になる自覚が強まった」「不安が和らいだ」「子育ての基礎知識が得られてよかった」「予防接種スケジュールが役に立った」等の意見が多く、また、満足度も高かったため。					
必要性についての評価 C	評価			評価理由					
	2 継続(現状維持)			出産・子育てに関する不安・負担の軽減に効果的であると考えられるため、事業を継続の必要があります。					
今後の方向性 A	年度ごとに、配信する情報の内容を必要に応じて更新し、また、事業周知方法も工夫していきたいと考えます。								
懇談会からの意見									

本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート（H27年度分）

分野別	ひと	主要施策	(1)結婚・出産・子育て		担当課	子育て支援課・学校教育課		
個別施策	⑥経済的支援の推進				連携			
事業名	多子世帯支援事業 (保育園等・幼稚園第3子無償化)				事業区分	先行	該当ページ	P14
事業目的	多子世帯における経済的負担の軽減を図ることで、親が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進し、少子化を改善する。							
事業概要	第3子以降の児童の保育料を無償化し、経済的支援を図る。							
重要業績評価指標(KPI)	出生数に占める第3子以降の割合				目標値	18.0%		
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	計画額 (千円)	決算額 (千円)	備考(実績の概要など)
	基準値	H26	/	16.5% (H25)	/	/	/	別の指標 第3子以降の子どもがいる世帯数 目標292→実績373
	目標と成果	H27	16.8%	※近々公表予定		52,488	52,070	第3子以降の保育料を無償化する。
		H28	17.1%					
		H29	17.4%					
		H30	17.7%					
H31		18.0%						
事業の取組状況 D	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降で保育園等又は幼稚園に通う園児の保護者に対し、補助金を交付することで入園料・保育料を無償化しました。また「第3子の保育料が実質無償になる」ということを広報紙等で広くPRしました。							
目標(KPI)達成分析 C	評価			要因分析				
	1 大きく達成(100%以上)			補助制度を始めてから間もないため、すべて補助制度によるものとは言い切れないが、子育てを応援するイメージづくり、PRといった面で効果があったと考えます。				
効果についての評価 C	評価			評価理由				
	B 効果的である			子育てに係る経済的負担が軽減され、「たいへん助かります」といった声を頂いています。子育て世帯を応援するうえで効果的であると考えます。				
必要性についての評価 C	評価			評価理由				
	2 継続(現状維持)			事業を維持することで、子育て支援を継続していきます。				
今後の方向性 A	事業を継続し、本庄市の子育て支援を広くPRしていきます。							
懇談会からの意見								